

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500607
事業所名	グループホーム はるすのお家 尾張旭

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域住民の一員として町内会に加入し、回覧板で地域活動の情報を得ており 季節の行事や催し物に参加して親しく話す機会がある。公園の草取りやゴミ置き場のネットの保管、管理は地域の一員として継続している。近隣へは行事案内の挨拶や手作りの料理をお裾分けしたり、野菜を頂いたりする交流をしている。地域住民に認知症への理解を深める講師派遣の要請を管理者は受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。入居者、家族、地域住民、市職員、有識者、ホーム職員の構成メンバーである。活動や入居状況、介護報酬の改定、外部評価の報告など情勢による内容となっている。又質疑応答で活発な意見やアイデアをサービスの向上に繋げている。認知症の新薬について知りたいと家族から要望があり、製薬会社の出席で勉強の場として活かした経験がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 定期的な運営推進会議に市の職員の参加があり意見交換や取組みを伝えている。市主催の会議や研修に参加をしたり、講師の依頼があれば協力を惜しまない良好な関係となっている。困りごとや疑問のあるときは窓口に出向いたり 電話で相談をその都度行いアドバイスや指導を貰っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者・家族の意見や思いを表せる取組みは玄関に拝見箱の設置、運営推進会議や訪問時に積極的な言葉かけで話し易い雰囲気作りを心がけている。入居者や家族の要望・意見には丁寧に管理者が対応をして運営に反映させていることが家族アンケートからも伺える。写真にコメントを入れたホーム便りで暮らしの状況を家族に伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。